

伐採及び伐採後の造林の届出書

年 月 日

阿賀町長 殿

【届出者】

立木の伐採の権限を有する者

住 所

届 出 人

印

連 絡 先

伐採後の造林に係る権限を有する者

住 所

土地所有

者又は名

印

連 絡 先

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の8第1項の規定により届け出ます。

1 森林の所在場所

|          |
|----------|
| 東蒲原郡 阿賀町 |
|----------|

2 伐採の計画

|       |              |     |   |
|-------|--------------|-----|---|
| 伐採面積  | ヘクタール        |     |   |
| 伐採方法  | 主伐(皆伐・択伐)・間伐 | 伐採率 | % |
| 伐採樹種  |              |     |   |
| 伐採年齢  |              |     |   |
| 伐採の期間 |              |     |   |

3 伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

|                |                        |  |
|----------------|------------------------|--|
| 造林面積(A+B+C+D)  | ヘクタール                  |  |
| 人工造林による面積(A+B) | ヘクタール                  |  |
| 植栽による面積(A)     | ヘクタール                  |  |
| 人工播種による面積(B)   | ヘクタール                  |  |
| 天然更新による面積(C+D) | ヘクタール                  |  |
| ぼう芽更新による面積(C)  | ヘクタール                  |  |
| 天然更新補助作業の有無    | 地表処理・刈出し・植込み・その他( )・なし |  |
| 天然下種更新による面積(D) | ヘクタール                  |  |
| 天然更新補助作業の有無    | 地表処理・刈出し・植込み・その他( )・なし |  |

(2) 造林の方法別の造林の計画

|                        | 造林の期間 | 造林樹種 | 樹種別の造林面積 | 樹種別の植栽本数 |
|------------------------|-------|------|----------|----------|
| 人工造林<br>(植栽・人工播種)      |       |      | ha       | 本        |
| 天然更新<br>(ぼう芽更新・天然下種更新) |       |      | ha       | 本        |
| 5年後において的確な更新がなされない場合   |       |      | ha       | 本        |

【裏面】

- (3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

|  |
|--|
|  |
|--|

- 4 備考

|  |
|--|
|  |
|--|

注意事項

- 1 伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 2 伐採をする者と伐採後の造林をするも者とが異なり、これらの者が共同して提供する場合にあっては、該当伐採する者と該当伐採後の造林をする者が連名で提出すること。氏名を自署する場合には、押印を省略することができる。
- 3 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 4 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 5 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくるまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬきその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 6 伐採方法欄には、皆伐、択伐又は間伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 7 伐採年齢欄には、伐採する森林が異年齢の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(○～○)」のように記載すること。
- 8 伐採の期間が1年を超える場合においては、年次別に2の伐採の計画を記載すること。
- 9 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 10 植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。
- 11 天然更新補助作業の有無欄には、当該作業を行う場合には、地表処理、刈出し、植込みなどの作業の種類を記載すること。
- 12 造林樹種及び樹種別の造林面積欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 13 樹種別の植栽本数欄には、植栽する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 14 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。
- 15 5年後における更新確保の方法は、造林の方法を天然更新による場合(ただし、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であって、伐採後5年後において当該用途に供されていないときを含む。)に記載すること。